

子育て・子育ち 支援情報 14

問合せ先 市役所こども育成グループ
☎52-1111 (内線362)

Eメール ikusei@city.takahama.lg.jp

抱き方などを学ぶ事前レクチャーを行います。
みなさんの参加をお待ちしております。

◆事前レクチャー◆

とき 7月8日(土)
午前10時～11時30分

ところ 旧高浜北部幼稚園 リ
ズム室(高浜いちごプラザ隣)

◆交流事業◆

とき 夏休み(7月・8月)、
9月～2月の土曜日

(※事前に参加希望日をお聞きします。)

ところ 保健センター、高浜いちごプラザなど

対象 市内在住・在学中・高校生

申込期間

6月1日(木)～16日(金)
午前9時～午後5時

※土・日曜日は除く。

申込方法 電話・Eメールでこども育成グループへ申し込んでください。

※Eメールの場合は、氏名、性別、生年月日、住所、学校名



連絡先(電話番号)を明記してください。
※詳しい日程などは事前レクチャー後にお知らせします。

今月の手づくりメニュー

保育園で子どもたちが食べている給食やおやつので作り方の一部を紹介します。家庭でも簡単にできます。ぜひ、お子さんと一緒に作ってみてください。

◆ピーマンとツナの和え物(5月実施)

材料(1人分)

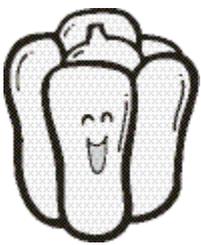
- ピーマン……………20g
- ツナ缶……………15g
- ゴマドレッシング……………5g
- (クリーム状)……………5g

作り方

- ①ピーマンは種をとり、せん切りにする。
- ②鍋に湯を沸かし、ピーマンを茹でる。ざるに広げて冷ます。
- ③ツナ缶の汁を軽く切り、ピーマンと一緒にドレッシングで和える。

栄養士から一言

ピーマンはこどもの嫌いな野菜の代表ですが、この料理はペロッと食べてしまいます。



コラム

たかほま子ども市民憲章

リレーで、たかほま子ども市民憲章に関するコラムを連載しています。今回は、高浜市図書館友の会の杉浦明男さんです。

質よりも量の問題

『健全な大人(親)によって健全な青少年が育つ』というのは一見もっともらしいが、机上の空論だ。大人の質などそもそも期待できない。むしろ、量的に多くの大人が関わることによって、それぞれの大人から良いところも悪いところも吸収しながら子どもは育つのだ。大人の質の低下を量によって補うことが現実的な方策なのだ。

ほんの30年前(私が小学生の頃)、子どもの遊び場と大人の仕事場は同じだった。田んぼや畑、大工小屋、瓦屋、土練所、八百屋、文房具屋、床屋、魚屋、薬屋、食堂。耕運機やトラックに乗せてもらったり、手伝わされたり、お使いに行ったり。大人社会と子ども社会の重なり部分がたくさんあって、学校で学ぶことよりも多くの事柄を直接大人から学習した。そこでは、親以外の大人たちが遠慮なく自分の価値観を子どもにぶつけて

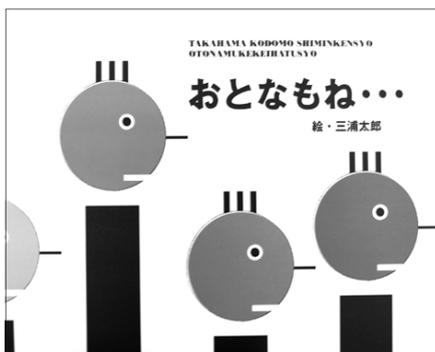
いた。

最近の大人は子どもに対して遠慮がちなのか自信がないのか「おとなもね…」にうたわれているポイントを押さえておけば大丈夫だ。

コラムへの投稿募集

このコーナーに投稿したい方は、こども育成グループまで原稿をお送りください。
原稿は、可能な限りワードなどのパソコン用ワープロソフトで作成した文書で提出してください。テキスト形式でも構いません。

書式は問いませんが、概ね40字前後で執筆し、簡単な見出しをつけてください。



高浜市では、昨年度に続き今年度も『高浜市中・高校生と赤ちゃんの交流事業』を実施します。子育て支援センターや保健センターの事業を見学したり、高浜いちごプラザで赤ちゃんと抱っこしたり、赤ちゃんの兄弟と遊んだり、お父さんとお母さんの子育て体験を聞いたりしませんか。
赤ちゃんと実際に触れ合う前に、赤ちゃんについての知識や